【総括表】

用途	スポーツクラブハウス

1　対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	高橋スポーツクラブハウス	高橋町	現状維持	
2	かみごうスポーツクラブクラブハウス	畝部東町	現状維持	
3	美里スポーツクラブハウス	宝来町	現状維持	
4	朝日丘スポーツクラブハウス	御幸町	現状維持	
5	若園スポーツクラブハウス	吉原町	現状維持	
6	まえばやしスポーツクラブハウス	中田町	現状維持	
7	しもやまスポーツクラブ　クラブハウス	大沼町	現状維持	

2　計画期間

2021 年度から 2026 年度までの 6 年間とする。

3　目標使用年数

原則、目標使用年数は 57 年以上とする。

4　対策の優先順位の考え方

当該施設は、ほとんどの施設が約 10 年～15 年前に建築されたが、建築後約 50 年経過している施設もある。建築物の構造等も考慮しつつ、年数を経過している施設の修繕を優先的に実施することを検討し、施設の劣化状況や点検・診断結果等を踏まえ、財政負担の平準化等も考慮しながら、計画的に行うものとする。

【個別表】

1	施設名	高橋スポーツクラブハウス

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	高橋町	延床面積	305.42 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
スポーツクラブ クラブハウス	RC 造	1972	305.42	2 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
高橋スポーツクラブクラブハウスは建築後４７年を経過している。当施設は旧高橋公民館を２００４年に改修し、スポーツクラブのクラブハウスとして利用している。２０１２年には延命化工事を行ったが、様々な部分で施設の劣化等が見受けられる状況である。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適正な修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
該当なし
☑：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善

（現在の導入状況）
　当クラブハウスについては、高橋スポーツクラブへ無償譲渡しており、施設修繕以外のクラブハウスに必要な備品購入や維持管理、クラブハウスの利活用はスポーツクラブ自身が行っている。
（今後の考え）
　今後も現在同様、スポーツクラブによる自主運営を実施する。

☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減

　ユニバーサルデザイン・バリアフリー化への対応や利用者ニーズに応じた機能への改修など、費用対効果を踏まえた上で、施設としての利便性向上に努める。
　設備の更新にあたっては、省エネ効果の高い照明のＬＥＤ化など、既存設備よりもメンテナンス頻度の少ない設備やエネルギー消費量の少ない設備に更新を検討し、初期費用（イニシャルコスト）だけでなく、維持管理を含めた費用（ランニングコスト）の縮減に努める。

（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

2	施設名	かみごうスポーツクラブ クラブハウス

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	畝部東町	延床面積	208.17 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
スポーツクラブ クラブハウス	LWS 造	2004	208.17	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
かみごうスポーツクラブクラブハウスは建築後１５年を経過し、少しずつ施設の劣化等が見受けられる状況である。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適正な修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
該当なし
☑：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
（現在の導入状況） 当クラブハウスについては、かみごうスポーツクラブへ無償譲渡しており、施設修繕以外のクラブハウスに必要な備品購入や維持管理、クラブハウスの利活用はスポーツクラブ自身が行っている。 （今後の考え） 今後も現在同様、スポーツクラブによる自主運営を実施する。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
	ユニバーサルデザイン・バリアフリー化への対応や利用者ニーズに応じた機能への改修など、費用対効果を踏まえた上で、施設としての利便性向上に努める。 　設備の更新にあたっては、省エネ効果の高い照明のＬＥＤ化など、既存設備よりもメンテナンス頻度の少ない設備やエネルギー消費量の少ない設備に更新を検討し、初期費用（イニシャルコスト）だけでなく、維持管理を含めた費用（ランニングコスト）の縮減に努める。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

3	施設名	美里スポーツクラブハウス

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	宝来町	延床面積	102.60 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
スポーツクラブ クラブハウス	S 造	2006	102.6 ㎡	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
美里スポーツクラブハウスは建築後１３年を経過し、少しずつ施設の劣化等が見受けられる状況である。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適正な修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
該当なし
☑：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
（現在の導入状況） 当クラブハウスについては、美里スポーツクラブへ無償譲渡しており、施設修繕以外のクラブハウスに必要な備品購入や維持管理、クラブハウスの利活用はスポーツクラブ自身が行っている。 （今後の考え） 今後も現在同様、スポーツクラブによる自主運営を実施する。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
	ユニバーサルデザイン・バリアフリー化への対応や利用者ニーズに応じた機能への改修など、費用対効果を踏まえた上で、施設としての利便性向上に努める。 設備の更新にあたっては、省エネ効果の高い照明のＬＥＤ化など、既存設備よりもメンテナンス頻度の少ない設備やエネルギー消費量の少ない設備に更新を検討し、初期費用（イニシャルコスト）だけでなく、維持管理を含めた費用（ランニングコスト）の縮減に努める。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

4	施設名	朝日丘スポーツクラブハウス

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	御幸町	延床面積	209.79 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
スポーツクラブ クラブハウス	S 造	2006	209.79	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
朝日丘スポーツクラブハウスは建築後１３年を経過し、少しずつ施設の劣化等が見受けられる状況である。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適正な修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
該当なし
☑：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
（現在の導入状況） 当クラブハウスについては、朝日丘スポーツクラブへ無償譲渡しており、施設修繕以外のクラブハウスに必要な備品購入や維持管理、クラブハウスの利活用はスポーツクラブ自身が行っている。 （今後の考え） 今後も現在同様、スポーツクラブによる自主運営を実施する。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
	ユニバーサルデザイン・バリアフリー化への対応や利用者ニーズに応じた機能への改修など、費用対効果を踏まえた上で、施設としての利便性向上に努める。 設備の更新にあたっては、省エネ効果の高い照明のＬＥＤ化など、既存設備よりもメンテナンス頻度の少ない設備やエネルギー消費量の少ない設備に更新を検討し、初期費用（イニシャルコスト）だけでなく、維持管理を含めた費用（ランニングコスト）の縮減に努める。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

5	施設名	若園スポーツクラブハウス

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	吉原町	延床面積	212.49 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
スポーツクラブ クラブハウス	S 造	2006	212.49	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
若園スポーツクラブハウスは建築後１３年を経過し、少しずつ施設の劣化等が見受けられる状況である。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適正な修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
該当なし
☑：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
（現在の導入状況） 当クラブハウスについては、若園スポーツクラブへ無償譲渡しており、施設修繕以外のクラブハウスに必要な備品購入や維持管理、クラブハウスの利活用はスポーツクラブ自身が行っている。 （今後の考え） 今後も現在同様、スポーツクラブによる自主運営を実施する。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
	ユニバーサルデザイン・バリアフリー化への対応や利用者ニーズに応じた機能への改修など、費用対効果を踏まえた上で、施設としての利便性向上に努める。 設備の更新にあたっては、省エネ効果の高い照明のＬＥＤ化など、既存設備よりもメンテナンス頻度の少ない設備やエネルギー消費量の少ない設備に更新を検討し、初期費用（イニシャルコスト）だけでなく、維持管理を含めた費用（ランニングコスト）の縮減に努める。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

6	施設名	まえばやしスポーツクラブハウス

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	中田町	延床面積	207.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
スポーツクラブ クラブハウス	S 造	2008	207.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
まえばやしクスポーツラブハウスは建築後１１年を経過し、少しずつ施設の劣化等が見受けられる状況である。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適正な修繕により安全性を
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
該当なし
☑：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
（現在の導入状況） 当クラブハウスについては、さわやかスポーツクラブまえばやしへ無償譲渡しており、施設修繕以外のクラブハウスに必要な備品購入や維持管理、クラブハウスの利活用はスポーツクラブ自身が行っている。 （今後の考え） 今後も現在同様、スポーツクラブによる自主運営を実施する。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
	ユニバーサルデザイン・バリアフリー化への対応や利用者ニーズに応じた機能への改修など、費用対効果を踏まえた上で、施設としての利便性向上に努める。 設備の更新にあたっては、省エネ効果の高い照明のＬＥＤ化など、既存設備よりもメンテナンス頻度の少ない設備やエネルギー消費量の少ない設備に更新を検討し、初期費用（イニシャルコスト）だけでなく、維持管理を含めた費用（ランニングコスト）の縮減に努める。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

7	施設名	しもやまスポーツクラブ クラブハウス

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	大沼町	延床面積	199.77 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
スポーツクラブ クラブハウス	S 造	2009	199.77	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
しもやまスポーツクラブクラブハウスは建築後１０年を経過し、徐々に施設の劣化等が見受けられる状況である。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適正な修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
該当なし
☑：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
（現在の導入状況） 当クラブハウスについては、しもやまスポーツクラブへ無償譲渡しており、施設修繕以外のクラブハウスに必要な備品購入や維持管理、クラブハウスの利活用はスポーツクラブ自身が行っている。 （今後の考え） 今後も現在同様、スポーツクラブによる自主運営を実施する。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
	ユニバーサルデザイン・バリアフリー化への対応や利用者ニーズに応じた機能への改修など、費用対効果を踏まえた上で、施設としての利便性向上に努める。 設備の更新にあたっては、省エネ効果の高い照明のＬＥＤ化など、既存設備よりもメンテナンス頻度の少ない設備やエネルギー消費量の少ない設備に更新を検討し、初期費用（イニシャルコスト）だけでなく、維持管理を含めた費用（ランニングコスト）の縮減に努める。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。